



熊本県介護施設 SAFE 協議会を開催しました

熊本労働局では、全国労働衛生週間（10月1日～7日）に労働基準部長視察と併せて、今年度第2回目の熊本県介護施設 SAFE 協議会を開催しました。

実施日	令和6年10月2日（水）
場 所	社会福祉法人リデルライトホーム 特別養護老人ホーム リデルホーム龍田 （熊本市北区龍田陣内3丁目19-12）
内 容	全国労働衛生週間の重点事項の一つでもある「腰痛災害の予防」について、前回の協議会ではノーリフトケアを導入している構成員から取組状況を聞くことにより知識を共有しましたが、今回は実際に介護機器の実演等を通して、さらにその知識を深めました。

本協議会は、冒頭に、熊本労働局労働基準部長から、「全国労働衛生週間における取組の一環として、本週間の重点事項の一つである「腰痛災害の予防」に積極的に取り組んでおられるこちらの職場を、熊本県介護施設 SAFE 協議会の構成員の方々とともに視察させていただき、その結果を今後の介護施設における行動災害防止対策の検討に活かしてまいりたい。」等の挨拶がなされました。

その後、社会福祉法人リーデルライトホーム 特別養護老人ホーム リデルホーム龍田（以下、「リデルホーム龍田」といいます。）の施設長からも挨拶がなされ、同リデルホーム龍田の担当者からノーリフトケア（「ノーリフティングケア」ともいう。）の導入・定着等の「抱えんモンプロジェクト」始動の経緯、ノーリフトケア導入後の効果（介護者の腰痛発症が減少した）等の説明がありました。



熊本労働局労働基準部長の挨拶

その後、介護機器の実演場所へ移動し、熊本労働局の職員等がモデルとなって、3種類の介護機器（天井走行型介護リフト、床走行式電動介護リフト、スタンディングリフト）の実演を行いました。



リデルホーム龍田からの説明

当日は報道関係者も取材にお越しいただき、広く県民の方にも腰痛予防対策について周知することができました。リデルホーム龍田をはじめ関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

今後も、熊本労働局では、介護施設の労働災害防止のための施策を推進してまいります。



実演（天井走行型介護リフト）